

資料 3-1

区内の二酸化炭素（CO₂）排出量算定結果について

1 CO₂排出量

都内の市区町村が連携・協働して取り組むオール東京 6 2 市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」において、6 2 市区町村別にCO₂排出量を算定・公表している。

令和 5 年 2 月に改定した「新宿区第三次環境基本計画」で定めたCO₂排出削減目標*の基準年度と、データが公表されている直近 2 年の排出量を比較すると、以下のとおりとなる。

※「新宿区第三次環境基本計画」（改定）で定めたCO₂排出削減目標

令和 1 2（2030）年度において、区内のCO₂排出量を平成 2 5（2013）年度比で 4 6 %削減することを目指し、さらに 5 0 %の高みに向けて挑戦を続けていく。

（単位：1,000 t -CO₂）

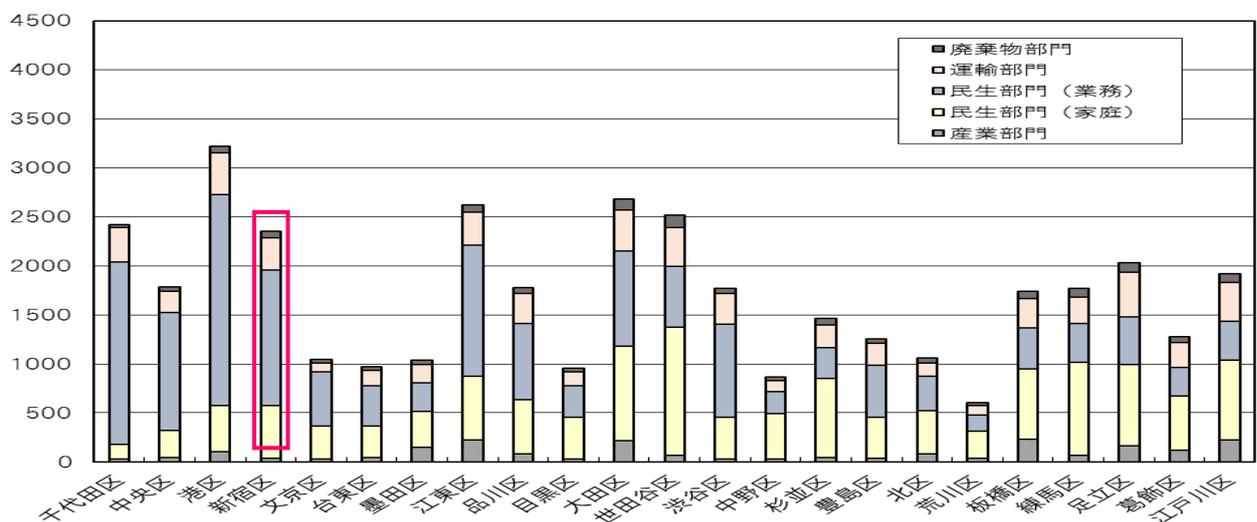
年度 排出量	【基準年度】 平成 25 (2013)	令和元 (2019)		令和 2 (2020)				
			2013 年度比	2013 年度比		前年度比		
				増 減	増減率	増 減	増減率	
産業部門	99	60	△39.4%	40	△59	△59.6%	△20	△33.3%
民生部門	2,579	2,093	△18.8%	1,921	△658	△25.5%	△172	△8.2%
家庭	633	526	△16.9%	533	△100	△15.8%	7	1.3%
業務	1,947	1,566	△19.6%	1,388	△559	△28.7%	△178	△11.4%
運輸部門	453	359	△20.8%	326	△127	△28.0%	△33	△9.2%
廃棄物部門	70	83	18.6%	69	△1	△1.4%	△14	△16.9%
合計	3,201	2,595	△18.9%	2,356	△845	△26.4%	△239	△9.2%

2 CO₂排出量の主な変動要因（前年度比）

- (1) 電力のCO₂排出係数（発電量 1 kWh 当たりのCO₂排出量）の改善により、排出量全体が減少
- (2) 新型コロナウイルス感染症による影響
 - ① 業務部門における延床面積当たりエネルギー消費量の減少
 - ② 家庭部門における世帯当たりエネルギー消費量の増加

3 令和 2（2020）年度における各区のCO₂排出量

（単位：1,000 t -CO₂）



➡ 新宿区は、23区の中で、6番目にCO₂排出量が多い。